

## 1. 公益目的事業

(1) 第3回新作日本刀・刀職技術展覧会(主催) 公益財団法人大倉文化財団大倉集古館(主催)

会期:平成24年6月9日/10日～7月22日

会場:東京虎ノ門 大倉集古館

後援:経済産業省、文化庁

授賞:経済産業大臣賞、文化庁長官賞他を申請

助成:日本財団

内容:作刀・調金・研磨・刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施し、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。  
更に、受賞作品を展覧すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。  
奈良の正倉院から所蔵物を借用し、展示を図る。  
出品数の拡大と、集客6千人を目指す。

(2) 第5回刀職者実技研修会(主催)

会期:平成24年8月下旬の3日間

会場:長野県坂城町中心市街地コミュニティセンター

研修生:5職種各6～8名計約35名を予定

助成:文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」他を申請

内容:日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの5職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。  
同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

(3) 日本刀・刀装具公開鑑賞会(主催)

開催回数:年4回(原則第1土曜日、13時半～16時半)

会場:コクヨ(株)ショールームの会議室他

内容:日本刀・刀装具・拵等を公開し、会員に限らず広く鑑賞して貰う機会とする。

(4) <事業名>北海道における日本刀の保存・活用総合活性化事業(文化庁)

補助:平成24年度文化芸術振興費補助金交付申請(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)

期間:平成24年8月1日～25年3月31日

内容:学芸員の為の日本刀実践講座

日本刀の保存と活用に関する支援コンサルティング

日本刀と伝統文化に関する展覧会

(5) 日本刀鍛錬見学・研修旅行等(主催)

時期:平成24年8月～11月の間の1・2日、1回

内容:刀の鍛錬から焼き入れまでの実演見学。会員に限らず広く伝統の技に触れて貰う機会とする。

(6) 第7回お守り刀展覧会(後援)

会場・会期:長船会場他の2会場、9月下旬～12月中旬の間

主催:全日本刀匠会

内容:全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展覧。

後援内容:後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等

## 2. 収益事業

(1) 内外における日本刀・刀装製作、研磨・補修等の受注・斡旋

企画:第2回「新作日本刀頒布会」平成23年9月案内、申込締切り:12月末